



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

| 令和8年9月25日（金） 岐阜県発表資料 |        |     |                  |
|----------------------|--------|-----|------------------|
| 担当課                  | 担当係    | 担当者 | 電話番号             |
| 自然環境課                | 生物多様性係 | 酒向  | 内線 2921          |
|                      |        |     | 直通 058-272-8231  |
|                      |        |     | FAX 058-278-2602 |
| 岐阜県野生動物管理推進センター      |        | 森   | 電話 058-293-3416  |

## 令和8年度<sup>けんか</sup> 堅果（ドングリ）類の豊凶予測調査結果について

岐阜県内に生息するツキノワグマ（以下「クマ」という。）は、例年9月から10月にかけて人里周辺での出没が増加する傾向にあり、特に、秋季のクマの主な餌であるブナ、ミズナラ、コナラの堅果（ドングリ）類の豊凶がクマの出没に影響を与えるとされています。

このたび、県では堅果類の豊凶予測調査を実施しましたので、下記のとおり結果をお知らせします。

なお、調査結果は県公式ホームページへ掲載し、注意喚起を行うとともに、市町村との情報共有を行います。

### 記

#### 1 豊凶予測調査の結果（県内全域の平均。地域ごとの調査結果等詳細は別紙参照）

ブナ 並作（凶作～豊作までばらつき有り）  
ミズナラ 並作（凶作～豊作までばらつき有り）  
コナラ 並作（凶作～並作までばらつき有り）  
※作柄は、大凶作、凶作、並作、豊作、大豊作の5段階区分

#### 2 クマ出没への影響（県野生動物管理推進センターの意見）

令和8年度は、令和3年度以来5年ぶりに、県内のブナ、ミズナラ、コナラの3樹種すべてが並作となりました。県全体では、堅果類の凶作を要因とするクマの出没増加の可能性は、凶作年と比べて低いと考えられます。

しかし、地域によって凶作の樹種があるほか、人の生活圏周辺を行動圏とする個体もいると考えられます。冬眠前の秋はクマの食欲が旺盛になるので、引き続きクマに対する警戒は必要です。

※岐阜県では、ツキノワグマ出没注意情報を発令中です。

### 3 クマの被害にあわないための対応策

#### (1) 野山でクマと出会わないために

- ・鈴やラジオなど音のするものを身につけ、人間の存在を知らせましょう。
- ・単独行動は避け、2人以上で行動しましょう。
- ・新しい糞や足跡を見つけたときは、すぐに引き返しましょう。
- ・山へ入ったとき、残飯は必ず持ち帰りましょう（クマに味を覚えさせないため）。

#### (2) もしクマに出会ってしまったら

- ・クマがこちらに気付いていない場合  
→速やかにその場から離れてください。
- ・クマがこちらに気付いた場合  
→背中を見せずにそのままゆっくりと後ずさりしながらクマから離れてください。
- ・クマから攻撃を受けそうになった場合  
→腕や荷物などで急所（顔面・首・後頭部・腹部）を守ってください。

#### (3) クマを集落周辺に寄せ付けないためには

- ・生ゴミを田畑に捨てないようにしましょう。
- ・クマを誘因する恐れのある果樹の実を残さず採取しましょう。（柿、栗など）
- ・果樹園、養蜂場、養魚場では、クマの被害が発生しやすいので、電気柵を設置しましょう。
- ・利用している果樹は、トタンの巻き付けなどの防除をしましょう。
- ・利用しない果樹（柿、栗など）であれば伐採しましょう。

### 4 岐阜県クママップについて

- ・県ホームページでクマの目撃情報（クママップ）が確認できます。  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4964.html>
- ・クマの目撃情報は、お近くの市町村、岐阜地域環境事務所又は県事務所環境課へご連絡ください。